

地理空間学会 学会賞受賞者

〔2010年度（第1回）〕 特別賞1名 学術賞5名 奨励賞3名

【特別賞】

矢ヶ崎孝雄

受賞対象：猪垣に関する一連の研究

【学術賞】

合田昭二

受賞対象：合田昭二『大企業の空間構造』原書房，246p.，2009年2月.

堤 純

受賞対象：堤 純『土地利用変化のメカニズム—土地所有とGISからの分析—』，古今書院，172p.，2009年3月.

平岡昭利

受賞対象：平岡昭利編『離島研究Ⅲ』海青社，220p.，2007年12月.

平岡昭利編『地図で読み解く日本の地域変貌』海青社，333p.，2008年11月.

平岡昭利編『離島に吹くあたらしい風』海青社，111p.，2009年9月.

湯澤規子

受賞対象：湯澤規子『在来産業と家族の地域史—ライフヒストリーからみた小規模家族経営と結城紬生産—』古今書院，238p.，2009年1月.

渡辺理絵

受賞対象：渡辺理絵『近世武家地の住民と屋敷管理』大阪大学出版会，217p.，2008年1月.

【奨励賞】

李 虎相

受賞対象：李 虎相「社会ネットワーク分析にもとづく国際航空ネットワークの構造」，『地学雑誌』，117，pp.985—996，2008年.

Lee, H. The networkability of cities in the international air passenger flows 1992–2004, *Journal of Transport Geography*, 17, pp.166—175, 2009年.

## 清水克志

受賞対象：清水克志「日本におけるキャベツ生産地域の成立とその背景としてのキャベツ食習慣の定着—明治後期から昭和戦前期を中心として—」, 『地理学評論』, **81**, pp.1—24, 2008年.

清水克志「近代日本における野菜種子流通の展開とその特質—盛岡近郊の種苗業者の取引記録からの考察—」, 『歴史地理学』, **51(5)**, pp.1—22, 2009年.

## 田中耕市

受賞対象：田中耕市「1990年代における東京23区の都市密度変化と土地利用転換—事務所建築物と集合住宅を対象として—」, 『地学雑誌』, **117**, pp.479—490, 2008年.

Tanaka, K. Recent Trends and Issues in Geographical Studies on Modern Transportation in Japan, *Geographical Review of Japan*, **81**, pp.292—302, 2008年.

田中耕市「中山間地域における公共交通の課題と展望」, 『経済地理学年報』, **55**, 33—48, 2009年.

[2011年度(第2回)] 学術賞4名 奨励賞3名

**【学術賞】**

張 長平

受賞対象：張 長平『都市の空間データ分析』古今書院，240p.，2010年9月.

中村周作

受賞対象：中村周作『行商研究—移動就業行動の地理学—』海青社，309p.，2009年10月.

丸山浩明

受賞対象：丸山浩明編『ブラジル日本移民一百年の軌跡—』明石書店，350p.，2010年7月.

三木一彦

受賞対象：三木一彦『三峰信仰の展開と地域的基盤』古今書院，225p.，2010年2月.

**【奨励賞】**

久保倫子

受賞対象：久保倫子「水戸市中心部におけるマンション購入世帯の現住地選択に関する意思決定過程」、『地理学評論』，**81**，pp.45—59，2008年.

Kubo, T. Japanese housing market and the roles of the condominiums in local cities: A case study of Mito City, Ibaraki Prefecture, *Tsukuba Geoenvironmental Sciences*, **5**, 17—30, 2009年.

久保倫子「幕張ベイタウンにおけるマンション購入世帯の現住地選択に関する意思決定過程」、『人文地理』，**62**，pp.1—19，2010年.

久保倫子「マンションを扱った地理学的研究の動向と課題—日本での研究を中心に—」、『地理空間』，**3**，pp.43—56，2010年.

Kubo, T., Onozawa, Y., Hashimoto, M., Hishinuma, Y., and Matsui, K. Mixed development in sustainability of suburban neighborhoods: The case of Narita New Town, *Geographical Review of Japan Series B*, **83**, pp.47—63, 2010年.

花木宏直

受賞対象：花木宏直「大正期～昭和初期の芸予諸島・大三島におけるマニラ移民と国内出稼ぎの特性—旧岡山村口総地区を事例として—」、『人文

地理』, **62**, pp.401—425, 2010 年.

花木宏直「近世後期～明治前期における柑橘品種と需要—和歌山市街及び周辺地域を事例に—」, 『地理空間』, **3**, pp.96—112, 2010 年.

#### 山本健太

**受賞対象:** 山本健太「ソウルにおけるアニメーション産業の集積と特質—国際分業および労働市場に着目して—」, 『季刊地理学』, **60**, pp.185—206, 2008 年.

山本健太「上海地域におけるアニメーション産業の集積構造—海外依存型企業の事例を中心に—」, 『地理科学』, **64**, pp.228—249, 2009 年.

[2012年度(第3回)] 特別賞1名 学術賞5名 奨励賞2名

**【特別賞】**

小林浩二

受賞対象：小林浩二『地域研究とは何か—フィールドワークからの発想—』古今書  
院, 128p., 2012年1月.  
ほか11点の著作.

**【学術賞】**

岩間信之

受賞対象：岩間信之編著『フードデザート問題—無縁社会が生む「食の砂漠」—』  
農林統計協会, 162p., 2011年6月.

櫻井明久

受賞対象：櫻井明久『社会科教師のための地理教材の作り方』古今書院, 141p., 2011  
年3月.

仁平尊明

受賞対象：仁平尊明『エネルギー効率から見た日本の農業地域』筑波大学出版会,  
316p., 2011年3月.

原田洋一郎

受賞対象：原田洋一郎『近世日本における鉱物資源開発の展開—その地域的背景—』  
古今書院, 300p., 2011年2月.

山下清海

受賞対象：山下清海『池袋チャイナタウン—都内最大の中華街の実像に迫る—』  
洋泉社, 191p., 2010年11月.  
山下清海編著『現代のエスニック社会を探る—理論からフィールドへ—』  
学文社, 213p., 2011年3月.

**【奨励賞】**

林 琢也

受賞対象：林 琢也 「グローバル化に対応したリンゴ生産と品種の管理—日本ピン  
クレディー協会を事例に—」, 『茨城地理』, 10, pp.93—102, 2009年  
8月.  
Hayashi, T., Sustainable systems of agri—tourism in a cherry—growing

area: A case study of the Miizumi area, Sagae City, Yamagata Prefecture, *Geographical Review of Japan Series B*, **82**(2), pp.60–77, 2010 年 5 月.

林 琢也・呉羽正昭 「長野盆地におけるアグリ・ツーリズムの変容—アップルライン (国道 18 号) を事例に—」, 『地理空間』, **3**, pp.113–136, 2010 年 12 月.

## 吉田国光

受賞対象: 吉田国光 「北海道大規模畑作地帯における社会関係からみた農地移動プロセス」, 『地理学評論』, **81**, pp.402–421, 2009 年 9 月.

吉田国光・市川康夫・花木宏道・栗林 賢・武田周一郎・田林 明 「大都市近郊における社会関係からみた稲作農家の農地集積形態」, 『地学雑誌』, **119**, 810–825, 2010 年 10 月.

ほか 3 点の論文.

〔2013年度（第4回）〕 特別賞2名 学術賞1名 奨励賞4名

**【特別賞】**

山本正三

受賞対象：山本正三ほか編『小農複合経営の地域的展開』二宮書店，400p.，2012年4月。  
ほか多数。

溝尾良隆

受賞対象：溝尾良隆『観光学と景観』古今書院，229p.，2011年6月。  
ほか10点の著作。

**【学術賞】**

平岡昭利

受賞対象：平岡昭利『アホウドリと「帝国」日本の拡大—南洋の島々への進出から侵略へ』明石書店，279p.，2012年11月。

**【奨励賞】**

久木元美琴

受賞対象：久木元美琴「地方温泉観光地における長時間保育ニーズへの対応—石川県七尾市の事例から—」『地理学評論』**83**，pp.176—191，2010年3月。

Kukimoto, M.F., The use of communication tools among Japanese mothers living in France. *NETCOM—Networks and Communication Studies*, **24**(1/2), pp.47—62, 2010年。

Kukimoto, M., Wakabayashi, Y. and Yui, Y., Production of local childcare culture in Okinawa and the impact of policy change. *Geographical Review of Japan Series B*, **84**, pp.60—70, 2012年3月。

水谷千亜紀

受賞対象：Mizutani, C. and Murayama, Y., Analytical framework for polygon—based land use change. *SIGSPATIAL Special*, **3**(3), pp.15—20, 2011年11月。

Mizutani, C., Construction of an analytical framework for polygon—based land use transition analyses. *Computers, Environment and Urban Systems*, **36**(3), pp.270—280, 2012年5月。

Lwin, K., Murayama, Y. and Mizutani, C., Quantitative versus

qualitative geospatial data in spatial modeling and decision making. *Journal of Geographic Information System*, 4(3), pp.237–241, 2012 年 6 月.

#### 市川康夫

**受賞対象**：吉田国光・市川康夫・花木宏直・栗林 賢・武田周一郎・田林 明「大都市近郊における社会関係からみた稲作農家の農地集積形態」『地学雑誌』 **119**, pp.810–825, 2010 年 10 月.

市川康夫「中山間農業地域における広域的地域営農の存立形態—長野県上伊那郡飯島町を事例に—」『地理学評論』 **84**, pp.324–344, 2011 年 7 月.

市川康夫「フランス条件不利地域における山地農家の経営戦略 —マッシュフ・サントラル, メザン地域を事例に—」『地学雑誌』 **121**, pp.1010–1029, 2012 年 12 月.

#### 遠藤貴美子

**受賞対象**：遠藤貴美子「東京城東地域におけるカバン・ハンドバック産業集積の存立基盤—企業間の受発注関連とコミュニケーションの分析を通じて—」『地理学評論』 **85**, pp.342–361, 2012 年 7 月.

遠藤貴美子「東京城東地域におけるカットグラス産業の生産・流通構造変化—「江戸切子」の創造的側面に着目して—」『地域経済学研究』 **25**, pp.106–121, 2012 年 12 月.



〔2014年度（第5回）〕 学術賞3名 奨励賞1名

**【学術賞】**

西野寿章

受賞対象：西野寿章『山村における事業展開と共有林の機能』原書房，263p.，2013年1月.

田林 明

受賞対象：山本正三・田林 明・菊地俊夫編著『小農複合経営の地域的展開』二宮書店，399p.，2012年2月.

田林 明編著『商品化する日本の農村空間』農林統計出版，397p.，2013年2月.

松井圭介

受賞対象：松井圭介『観光戦略としての宗教—長崎の教会群と場所の商品化—』筑波大学出版会，182p.，2013年3月.

MATSUI K.: Geography of Religion in Japan: Religious Space, Landscape, and Behavior. Springer, 200p., 2013年12月.

**【奨励賞】**

植村円香

受賞対象：植村円香「東京都利島村におけるツバキ実生産による高齢者の生計維持」『地理学評論』**84**，pp.242—257，2011年11月.

植村円香「高齢期離職就農者による柑橘農業の実態とその意義—愛媛県岩城島を事例として—」『経済地理学年報』**59**，pp.136—153，2013年3月.

植村円香「高齢化に伴う果樹複合産地の変容—長野県飯田市・高森町の干し柿生産を事例に—」『地学雑誌』**122**，pp.502—520，2013年7月.

〔2015年度（第6回）〕 特別賞1名 学術賞2名 奨励賞2名

【特別賞】

白坂 蕃

受賞対象：白坂 蕃『スキーと山地集落』明玄書房，1986年4月。

白坂 蕃『海のくらし-島に生きる人々』小峰書店，1997年4月。

尹紹亭著，白坂 蕃訳『雲南の焼畑-人類生態学的研究』農林統計協会，  
2000年12月。

白坂 蕃「野沢温泉村におけるスキー場の立地と発展-日本におけるスキー場の地理学的研究第1報-」『地理学評論』**49**: 341-360. 1976年6月。

白坂 蕃「中央高地梅池高原における新しいスキー集落の形成」『地理学評論』**55**: 566-586. 1982年8月。

Shirasaka, S.: Skiing Grounds and Ski Settlements in Japan. *Geographical Review of Japan, Series B* **57**: 68-86. 1984年4月。

Shirasaka, S.: The Agricultural Development of Hill Stations in Tropical Asia: A Case Study in the Cameron Highlands, Malaysia. *Geographical Review of Japan, Series B* **61**: 191-211. 1988年12月。

Shirasaka, S.: Changing Slash-and-Burn Cultivation in Xishuangbanna, Southwestern China. *Geographical Review of Japan, Series B* **68**: 107-118. 1995年12月。

白坂 蕃「日本の古代スキーとその自然環境」『日本スキー学会誌』**10**: 135-143. 2000年7月。

Shirasaka, S.: Changing Traditional *Swidden* in the Southern Mountains of Yunnan Province, China. *Journal of Geography (Chigaku Zasshi)* **113**: 273-282. 2004年4月。

Shirasaka, S.: The Transhumance of Sheep in the Southern Carpathians Mts., Romania. *Geographical Review of Japan* **80**: 290-311. 2007年4月。

【学術賞】

橋本雄一

受賞対象：橋本雄一『東南アジアの経済発展と世界金融危機』古今書院，198p.,  
2014年3月。

横山 智

受賞対象：横山 智『納豆の起源』NHK出版，317p., 2014年11月。

## 【奨励賞】

杉本興運

受賞対象 : Sugimoto, K.: Visualizing the Sightseeing Potential of Urban

Recreational Spaces: A Study of Weighted Scores on the Density Estimation of Points of Visual Interest. *Geographical Review of Japan Series B* **86**(2): 189–197. 2014年3月

杉本興運・菊地俊夫「日本における観光資源分布の地域的特徴」『地学雑誌』**123**(1): 1–24. 2014年2月.

杉本興運・岡野裕弥・菊地俊夫「レンタサイクル利用による観光回遊行動の実態: 長野県安曇野市における GPS・GIS 支援による調査とデータ解析」『観光研究』**24**(2):15–27. 2013年3月.

Sugimoto, K.: Quantitative measurement of visitors' reactions to the settings in urban parks: Spatial and temporal analysis of photographs. *Landscape and Urban Planning* **110**: 59–63. 2013年2月.

杉本興運「観光者の視覚的体験情報に基づく回遊空間の評価—デジタルカメラ, GPS, GIS を使った分析手法—」『GIS—理論と応用』**20**(1): 39–49. 2012年6月.

## Ronald Canero ESTOQUE

受賞対象 : Estoque, R.C. and Murayama, Y. :Measuring sustainability based upon various perspectives: A case study of a hill station in Southeast Asia. *AMBIO* **43**:943–956.2014年3月.

Estoque, R.C. and Murayama, Y.: Social—ecological status index: A preliminary study of its structural composition and application. *Ecological Indicators* **43**: 183–194. 2014年3月.

Estoque, R.C. and Murayama, Y.: A geospatial approach for detecting and characterizing non—stationarity of land change patterns and its potential effect on modeling accuracy. *GIScience & Remote Sensing* **51**: 239–252.2014年4月.

Estoque, R.C. and Murayama, Y.: Landscape pattern and ecosystem service value changes: Implications for environmental sustainability planning for the rapidly urbanizing summer capital of the Philippines. *Landscape and Urban Planning* **116**: 60–72. 2013年5月.

Estoque, R.C. and Murayama, Y.: Examining the potential impact of

land use/cover changes on the ecosystem services of Baguio city, the Philippines: A scenario-based analysis. *Applied Geography* **35**: 316–326. 2012年9月.

〔2016年度（第7回）〕 学術賞3名 奨励賞1名

**【学術賞】**

久保倫子

受賞対象：久保倫子『東京大都市圏におけるハウジング研究—都心居住と郊外住宅地の衰退—』古今書院，208p.，2015年3月.

秦 洋二

受賞対象：秦 洋二『日本の出版物流通システム—取次と書店の関係から読み解く』九州大学出版会，191p.，2015年3月.

吉田国光

受賞対象：吉田国光『農地管理と村落社会—社会ネットワーク分析からのアプローチ—』世界思想社，202p.，2015年3月.

**【奨励賞】**

福本 拓

受賞対象：福本 拓・藤本久司・江成 幸・長尾直洋「集合的消費の変質に着目した外国人受入れ意識の分析—三重県四日市市の日系ブラジル人集住地区を事例に—」『地理学評論』88:341—362，2015年7月.

福本 拓「土地売買の観点からみたエスニック空間の形成過程—大阪市生野区新今里地区における花街から韓国クラブ街への変貌—」『地理空間』8: 197—217. 2015年12月.

Fukumoto, T.: The Persistence of the Residential Concentration of Koreans in Osaka from 1950 to 1980: Its Relation to Land Transfers and Home—work Relationships. *Japanese Journal of Human Geography (Jimbun Chiri)* 65:475—493. 2013年12月.

〔2017年度（第8回）〕 学術賞3名 奨励賞2名

**【学術賞】**

鹿嶋 洋

受賞対象：

鹿嶋 洋『産業地域の形成・再編と大企業』原書房，236p.，2016年3月.

久木元美琴

受賞対象：

久木元美琴『保育・子育て支援の地理学』明石書店，224p.，2016年10月.

山下亜紀郎

受賞対象：

山下亜紀郎『水環境問題の地域的諸相』古今書院，186p.，2015年2月.

山下亜紀郎編『土地利用でみるアジアの都市化と自然環境』筑波大学出版会，162p.，2016年3月.

**【奨励賞】**

秋元菜摘

受賞対象：

秋元菜摘. 富山市のクラスター型コンパクトシティ政策と郊外のアクセシビリティ—婦中地域におけるシミュレーション—. 地理学評論 87: 314—327, 2014年.

秋元菜摘. 一極集中型コンパクトシティ政策の有効性に関するアクセシビリティのシミュレーション分析—青森市における人口の集約化と公共交通の多頻度化—. 地学雑誌 125: 523—544, 2016年.

福井一喜

受賞対象：

福井一喜. 群馬県草津温泉の宿泊業におけるインターネット利用の動態—宿泊施設の経営戦略に着目して—. 地理学評論 88: 607—622, 2015年.

福井一喜・金 延景・上野李佳子・兼子 純. 地方都市の中心商店街における新規事業の創出—長野県佐久市岩村田本町商店街の事例—. 都市地理学 11: 59—70, 2016年.

福井一喜. 東京のベンチャーIT 企業をめぐる情報技術者コミュニティの役割—東京の大規模会合の分析を通して—. 経済地理学年報 62: 87—101, 2016年.

〔2018 年度（第9回）〕 特別賞 1 名 学術賞 2 名 奨励賞 2 名

**【特別賞】**

**碓井照子**

受賞対象：

碓井照子「地理教育で学ぶ持続可能な社会づくり：日本学術会議の提言と新たな必修  
修科目」科学 88(2), 134—138, 2018—02

碓井照子「新科目「地理総合」における地図/GIS リテラシー教育の在り方」地図  
54(3), 7—24, 2016

碓井照子「阪神淡路大震災における人的被害の地域分析」奈良大地理(16), 72—  
83, 2010

碓井照子「阪神淡路大震災の復旧・復興と奈良大学防災調査」総合研究所所報(15), 1  
—20, 2007

碓井照子「GIS による奈良町の 3 次元景観モデル」歴史地理学 48(1), 61—68,  
2006—01

碓井照子「地理情報科学からみた地図学の現状と将来」地図 43(4), 25—32, 2005  
—12—30

碓井照子「GIS における最近の動向と展望」情報通信学会誌 21(4), 83—90, 2004  
—05—25

碓井照子「GIS 革命と地理学：オブジェクト指向 GIS と地誌学的方法論」地理学評  
論 76(10), 687—702, 2003—09—01

碓井照子「都市と GIS」都市研究(3), 61—70, 2003

碓井照子「活断層からの距離別地震被害の GIS 分析—阪神・淡路大震災における西  
宮市の建物被害と地下埋設管被害—」第四紀研究 39(4), 375—388, 2000—08—01  
他多数.

**【学術賞】**

**山下潤**

受賞対象：

山下潤『スウェーデンの環境都市政策』古今書院, 164p, 2015 年 2 月.

**山下琢巳**

受賞対象：

山下琢巳『水害常襲地域の近世～近代—天竜川下流域の地域構造—』古今書院,  
277p, 2015 年 1 月.

## 【奨励賞】

### 高橋昂輝

受賞対象：

Koki TAKAHASHI. Toronto Little Portugal: gentrification and social relations among local entrepreneurs. *Urban Geography* 38(4): 578—605. April, 2017.

高橋昂輝. 北米都市の業務改善自治地区 BID-トロントにみるローカルガバナンスとエスニックブランディング-. 地理空間, 9(1), 1—20. 2016 年 6 月.

Koki TAKAHASHI. Little Portugal and the changing spatial structure of the Portuguese community in Toronto. *Geographical Review of Japan Series B* 88(1): 1—22. February, 2016.

### 太田慧

受賞対象：

太田慧. 東京臨海部における港湾再開発と土地利用変化の特性—東京都港区海岸地区を事例に一. 地学雑誌, 124, 525—544. 2015 年 8 月.

太田慧・菊地俊夫. 富士山周辺地域における農業的土地利用変化とその地域性. 地学雑誌, 124, 1061—1084. 2015 年 12 月.

〔2019 年度（第 10 回）〕 特別賞 2 名 学術賞 1 名 奨励賞 2 名

## 【特別賞】

### 菅野峰明

受賞対象：

菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行『地理的情報の分析手法』古今書院, 1987

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤悟『新しい都市地理学』東洋書林, 1997

矢ヶ崎典隆・斎藤功・菅野峰明『アメリカ大平原—食糧基地の形成と持続性—』古今書院, 2003

菅野峰明・佐野充・谷内達編『日本の地誌 5 首都圏 1 東京都・神奈川県』朝倉書店, 2009

菅野峰明・久武哲也・正井泰夫編『世界地名大辞典北アメリカ I・II』朝倉書店, 2013

山本正三・菅野峰明訳『現代人文地理学の理論と実践—世界を読み解く地理学的思考』明石書店, 2018

菅野峰明「アメリカ合衆国ジョージア州における円形の自治体境界」人文地理 29, 180—194. 1977



菅野峰明「合衆国における都市成長の転換:1930年代を中心に」アメリカ研究(16), 54—71. 1982

菅野峰明「アメリカ合衆国における都市地理学の発達」地学雑誌 91, 354—368. 1982

菅野峰明・平井誠「ハイプレーンズを中心都市ガーデンシティの機能と商業的土地利用」経済地理学年報 46, 295—310. 2000

菅野峰明「サンベルト現象後のアメリカ合衆国南部」地理空間 2, 79—98. 2009

## 田林明

受賞対象：

山本正三・北林吉弘・田林明編『日本の農村空間—変貌する日本農村の地域構造—』古今書院,1987

田林明『農業水利の空間構造』大明堂,1990

田林明『扇状地農村の変容と地域構造—富山県黒部川扇状地農村に関する地理学的研究』古今書院,1991

高橋伸夫・田林明・小野寺淳・中川正『文化地理学入門』東洋書林, 1995

Sasaki, H., Saito, I. Tabayashi, A. and Morimoto, T.(ed.) Geographical Perspectives on Sustainable Rural Systems: *Proceedings of the Tsukuba International Conference on the Sustainability of Rural Systems*. Kaisei Publication, 1996

田林明・菊地俊夫『持続的農村システムの地域的条件』農林統計協会,2000

山本正三・内山幸久・犬井正・田林明・菊地俊夫・山本充『自然環境と文化』大明堂,2001

田林明『北陸地方における農業の構造変容』農林統計協会,2003

山本正三・谷内達・菅野峰明・田林明・奥野隆史編『日本の地誌 2 日本総論 II (人文・社会編)』朝倉書店,2006

藤田佳久・田林明編『日本の地誌 7 中部圏』朝倉書店,2007

田林明・菊地俊夫・松井圭介編『日本農業の維持システム』農林統計出版,2009

山本正三・田林明・菊地俊夫編『小農複合経営の地域的展開』二宮書店,2012

田林明編『商品化する日本の農村空間』農林統計出版,2013

田林明編『地域振興としての農村空間の商品化』農林統計出版,2015

## 【学術賞】

### 呉羽正昭

受賞対象：

呉羽正昭『スキーリゾートの発展プロセス—日本とオーストリアの比較研究—』二宮書店,2017—04

## 【奨励賞】

### 池田真利子

受賞対象：

池田真利子「ジェントリフィケーションの過程からみた文化・消費の役割-旧西ベルリン市ノイケルン区ロイター街区を事例として-」地理学評論 91:281-310, 2018-07

Ikeda Mariko. Temporary Use of Vacant Urban Spaces in Berlin: Three Case Studies in the Former Eastern Inner-city District Friedrichshain.

*Geographical Review of Japan Series B90*: 1-16, 2018-06

池田真利子・卯田卓矢・磯野巧・杉本興運・太田慧・小池拓矢・飯塚遼「東京におけるナイトライフ観光の特性-夜間音楽観光資源としてのクラブ・ライブハウスに着目して-」地理空間 10(3): 149-164, 2018-02

池田真利子「世界におけるナイトライフ研究の動向と日本における研究の発展可能性」地理空間 10(2): 67-84, 2017-12

池田真利子「ドイツにおける文化創造産業と政策-連邦州別の政策策定経緯に着目して-」*E-journal GEO* 11(1):164-185, 2016-09

### 坂本優紀

受賞対象：

坂本優紀「住民による地域のサウンドスケープの発見と活用-長野県松川村におけるスズムシを活用した地域づくりを事例に-」地理学評論 91:229-248, 2018-05

坂本優紀「石川県金沢市における用水路が作り出すサウンドスケープ」地理科学 73:197-211, 2018-12

[2020年度(第11回)] 奨励賞 2名

## 【奨励賞】

### 秋山祐樹

受賞対象：

Akiyama, Y., Yamamoto, Y., Shibasaki, R. and Kaneda, H., A Detailed Method to Estimate Inter-regional Capital Flows Using Inter-firm Transaction and Person Flow Big Data. *Asia-Pacific Journal of Regional Science*, 1-21, 2019-08. (Online First)

秋山祐樹「マイクロジオデータを用いた日本全国の家賃形成メカニズムの研究-住環境と住宅の市場価値の意外な関係性-」環境科学会誌, 32(2), 53-64,

2019—03.

秋山祐樹「マイクロジオデータを用いた日本全国の商業集積地域の分布把握」*E—journal GEO*, 13(1),109—126, 2018—04. ほか

#### 矢ヶ崎太洋

受賞対象:

矢ヶ崎太洋「東日本大震災後の人口減少と地域社会の再編—宮城県気仙沼市浦島地区の津波災害とレジリエンス—」*人文地理*, 71, 371—392, 2019—12.

矢ヶ崎太洋「津波災害に対する地域社会のレジリエンス—宮城県気仙沼市舞根地区における東日本大震災と防災集団移転を事例に一」*地学雑誌*, 126, 533—556, 2017—10. ほか

〔2021 年度（第 12 回）〕 学術賞 3 名

#### 【学術賞】

##### 市川康夫

受賞対象:

市川康夫『多機能化する農村のジレンマ—ポスト生産主義後にみるフランス山村変容の地理学—』勁草書房, 2020—01

##### 福井一喜

受賞対象:

福井一喜『自由の地域差—ネット社会の自由と束縛の地理学—』流通経済大学出版会, 2020—01

##### 渡辺康代

受賞対象:

渡辺康代『近世城下町の付祭りの変化—伊賀国上野と下野国烏山を事例に一』海青社, 2020—04

〔2022 年度（第 13 回）〕 特別賞 1 名 学術賞 3 名

#### 【特別賞】

##### 山下清海

受賞対象:

山下清海『東南アジアのチャイナタウン』古今書院, 1987

山下清海『シンガポールの華人社会』大明堂, 1988

高橋伸夫・山下脩二・菅野峰明・手塚章・山下清海『世界地図を読む—図説世界地—』大明堂, 1993

山下清海『チャイナタウン—世界に広がる華人ネットワーク—』丸善, 2000

山下清海『東南アジア華人社会と中国僑郷—華人・チャイナタウンの人文地理学的考察—』古今書院, 2002

山下清海編『華人社会がわかる本—中国から世界へ広がる華人ネットワークの歴史, 社会, 文化—』明石書店, 2005

山下清海編『エスニック・ワールド—世界と日本のエスニック社会—』明石書店, 2008

山下清海『池袋チャイナタウン—都内最大の中華僑街の実像に迫る—』洋泉社, 2010

山下清海編『現代のエスニック社会を探る—理論からフィールドへ—』学文社, 2011

山下清海編『改革開放後の中国僑郷—在日老華僑・新華僑の出身地の変容—』明石書店, 2014

山下清海編『世界と日本の移民エスニック集団とホスト社会—日本社会の多文化化に向けたエスニック・コンフリクト研究—』明石書店, 2016

山下清海『新・中華街—世界各地で〈華人社会〉は変貌する—』講談社, 2016

山下清海『世界のチャイナタウンの形成と変容—フィールドワークから華人社会を探究する—』明石書店, 2019

山下清海『横浜中華街—世界に誇るチャイナタウンの地理・歴史—』筑摩書房, 2021

## 【学術賞】

加藤晴美

受賞対象:

加藤晴美『遊郭と地域社会—貸座敷・娼妓・遊客の視点から—』清文堂, 2021-03

渡辺 悌二・白坂 蕃

受賞対象:

渡辺 悌二・白坂 蕃編著『変わりゆくパミールの自然と暮らし—持続可能な山岳社会に向けて』ブイツーソリューション, 2021-10

〔2023 年度（第 14 回）〕 学術賞 2 名

【学術賞】

**AKMATBEKOVA Gulzat**

受賞対象:

アコマトベコワ グリザット『転換する観光経験—ポスト社会主義国キルギスにおけるソ連時代経験者の観光実践を中心に—』立教大学出版会, 2021-3

平 篤志

受賞対象:

Atsushi Taira. Beyond the cluster: A case study of pipelines and buzz in the glocal relational space of the glove-related industry of Shikoku. *Geographical Journal*, 186: 45-58, Mar. 2020. <https://doi.org/10.1111/geoj.12333>

Atsushi Taira. Staying alive by going glocal: A case study of the towel-related industry balancing FDI and a local industrial cluster in Shikoku, Japan. In J. Banski (ed), *Dilemmas of regional and local development*, Routledge, pp. 243-259, Jun. 2020.

<https://www.taylorfrancis.com/chapters/edit/10.4324/9780429433863-15/staying-alive-going-glocal-atsushi-taira>

Atsushi Taira. Small but resilient: A case study of the Town of Utazu, Kagawa, Japan. In J. Banski (ed) *The Routledge handbook of small towns*, Routledge, pp.125-137, Aug. 2021.

<https://www.taylorfrancis.com/chapters/edit/10.4324/9781003094203-12/small-resilient-atsushi-taira>

Atsushi Taira and Rolf D. Schlunze (eds). "Management geography: Asian perspectives focusing on Japan and surrounding regions." Springer Singapore, 228p. (Sep. 27, 2022) DOI : <https://doi.org/10.1007/978-981-19-4403-1>

〔2024 年度（第 15 回）〕 学術賞 1 名

【学術賞】

**Ronald C. ESTOQUE**

Estoque RC, et al. Has the IPCC's revised vulnerability concept been well adopted? *Ambio*, 52, 376–389, 2023.

Estoque RC. Complexity and diversity of nexuses: A review of the nexus approach in the sustainability context. *Science of The Total Environment*, 854, 158612, 2023.

Estoque RC, et al. Climate impact chains for envisaging climate risks,

- vulnerabilities, and adaptation issues. *Regional Environmental Change*, 22, 133, 2022.
- Estoque RC, et al. Spatiotemporal pattern of global forest change over the past 60 years and the forest transition theory. *Environmental Research Letters*, 17, 084022, 2022.
- Estoque RC, et al. Rethinking forest monitoring for more meaningful global forest landscape change assessments. *Journal of Environmental Management*, 317, 115478, 2022.
- Estoque RC, et al. Monitoring global land-use efficiency in the context of the UN 2030 Agenda for Sustainable Development. *Habitat International*, 115, 102403, 2021.
- Estoque RC, et al. Remotely sensed tree canopy cover-based indicators for monitoring progress towards global sustainability and environmental initiatives. *Environmental Research Letters*, 16, 044047, 2021.

[受賞者総数]

特別 9 名 学術賞 37 名 奨励賞 24 名 計 65 名

(2024 年現在)